108点が展示
第6回古河さつき・盆栽展

▲色鮮やかな花や緑が来場者を楽しませました

5月27日～29日にかけて、中央公民館で「第6回古河さつき・盆栽展」が開催され、愛好家が丹精込めて育てた作品108点が展示されました。赤やピンク、白など色とりどりのさつきや松・モミジ・グミの木などの盆栽が会場を彩りました。

来場者同士で感想を述べ合いながら、1点1点をじっくりと鑑賞。愛情いっぱいに育てられ咲き誇った花や青々とした葉、躍動感あふれる樹形に魅了されていました。

また、会場の外では即売会も開催され、愛好家とのふれあいも楽しんでいました。

夫婦で学ぶ父親学級
～学校給食でコミュニケーション～

▲「パパに手伝ってもらいたい日常のこと」の質問に照れ笑いしながら答え合わせ

ママに集中してしまいがちな育児や家事。産前・産後または乳幼児を持つ夫婦を対象に、パパとママがお互いの悩みを共有し理解することを目的に、家族間のコミュニケーションの方法を学ぶ父親学級が、学校給食センターで5月25日に開催されました。

ワークショップでは、3キロの水袋を赤ちゃんに見立て、90分間抱っこしながら講義を受けるなど、育児と家事を両立する大変さを体験したパパたち。普段ママに頼りっきりなことを認識し、いつも以上に感謝していました。

ボールを追いかけ自分の青春を思い出す
第26回古河市マスターズサッカー大会

第26回古河市マスターズサッカー大会が5月21日・22日・28日・29日の4日間、古河市サッカー場およびリバーフィールド古河で行われました。

首都圏を中心に128チーム・約2,000人のサッカー好きが集まり、キックオフの笛とともにフィールドを駆(か)ける姿は少年そのもの。

真夏を思わせる快晴の中でも、ベンチからの大きな声援に後押しされ、疲れを知らない選手たちは、勝利を目指し一丸となっていました。

両チーム一歩も譲らない熱いプレーも試合終了となればみんな笑顔で握手。チームの壁を感じさせないサッカー談義が、新緑のまぶしいグラウンドに華を咲かせていました。

▲この日のために練習を重ね、最高のコンディションで臨んでいました

▶ゴールへ向けて狙いを定めたセンタリング